

小山田中部地区まちビジョン準備会 議事概要

日時 2022年9月21日(水)午後6時30分～午後8時30分

場所 大善倶楽部

参加者

準備会 市民10名
町田市 地区街づくり課 1名、農業振興課 1名
街づくりアドバイザー 2名

内容

1. これまでの議論のふりかえりとキーワードの整理について

アドバイザーより資料の説明が行われた。

(主な意見)

- ・(市民)小山田ではこれまで、子ども向けのイベント等で里山の整備や活用を行ってきた。マウンテンバイクが好きな人が市外から来ることもあった。里山を楽しめる活動がまちビジョンに位置付けられるとよい。
- ・(市民)里山の環境をきれいにしていくことが重要だろう。景観が悪化している竹林や小川もきれいにしていきたいと考えており、これまでも個人で活動している。
- ・(市民)まちビジョン交流会はどういう人が参加するのか。
→(市)エリア内に土地を所有している人、近隣住民でも関心がある人は参加できればよいと考えている。
- ・(アドバイザー)提示した資料に異論がなければ、この方向性で資料をまとめていきたい。

2. 中部地区まちビジョンの目標(たたき台)について

(主な意見)

- ・(市民)ソフト中心の活動ばかり記載すると具体的にまちがどう変わっていくかがわからない。まずハードがあって、そこからソフト的な活動を推進していくことが重要だろう。
→(市)ハード整備は前提としつつ、地域の方々の活動を後押しするというまちビジョンの主旨にそった内容を検討していけるとよい。
- ・(市民)小山田中部地区まちづくり構想、小田急多摩線延伸新駅を中心とした小山田周辺まちづくり構想をベースにまちビジョンの目標を整理していくということで異論はない。
- ・(市民)住んでいる人にとっての安心、便利はこのビジョンの原点であり、重要な視点だろう。住み続けられるためにできる活動を考えていけるとよい。
→(市)そうした視点で行う活動を後押しするまちビジョンとしていけるとよい。
- ・(市民)短期的には道路整備に合わせて沿道まちづくりを進めていくことが重要なのではないか。
- ・(市民)来訪者と交流するなかで、里山環境に好意的な意見は多く聞く。関心をもってもらう活動やまちづくりは重要な視点だろう。
- ・(アドバイザー)目標の概ねの方向性が相違ないとのことなので、次回は具体的な活動について意見交換をしていただくこととしたい。